

自然感

# くすのき



## 季節感

昔の子供の秋の甘～いおやつで、いつ頃どこに行けば採れるか、ちゃんと知っていた…

山の恵み 『アケビ』

平成20年9月28日  
脊振山系のとある場所  
大塚俊樹



## 熊洞居人独言

#31

クマが本格的に山を徘徊しだしたのは中学校3年生（1955年）頃からである。箱崎の街中に住んでいた熊は、小学校の頃から学校の遠足で立花山や三日月山、宮地岳神社裏山などは出かけていたし、多々良川下流域東側の丘陵地帯には遊びで駆け回っていた。当時、この一帯は立花山上部のクスノキ林を除いては、いずれも樹高3～5mの典型的な里山雑木林であった。立花山のクスノキ林は「立花山クスノキ原始林」として、昭和3年に自生地の北限として国の天然記念物に指定され、昭和30年には特別天然記念物に指定されている。小学生時代、春の遠足でクスノキの巨木を眺めながら立花山へ登り、山頂から眺めるレンゲの赤紫と菜の花の黄色が見渡す限り織りなす田園風景は感動的な眺望であった。しかし、中学1年生までは遠くの山は眺めるだけのものであった。2年生の時、遠足で箱崎から歩いて若杉山まで出かけ、担任教師の自転車を数人で担いで若杉山に登ったのが、本格的な登山の最初である。

中学3年生の春休み、大学生に連れられて始めて宝満山へ登った。山頂付近にはまだ残雪があり感動的な風景であった。山頂の上宮は、登山者のたき火による火事で焼け、哀れな残骸が残っていた。その後、高校には行って山岳部に所属してからは、月に数回は登り、ロッククライミングの訓練と称して山頂付近の岩場からぶら下がったり、這いずり回ったりしていた。上宮は再建されて今の姿となっていた。時には若杉山から宝満山まで尾根筋を縦走していた。糟屋郡・嘉穂郡・筑紫郡に跨る、いわゆる三郡縦走である。特に冬場の極寒の積雪を歩くのは、一番楽しい山行であった。当時の縦走路は、若杉山頂から宝満山頂まで、殆どがススキを切り分けた防火帯となっており、ショウケ越えから三郡山まで両側はススキ草原であった。これらのススキ草原は茅場として利用されていた。また、一部の尾根筋は樹高3m前後の雑木林で、秋にはよくノコギリを持った炭焼さんと出くわしていた。懐かしい思い出である。

## 案内 ◆ 環境フェスティバルふくおか2008

日時：10月25日（土）・26日（日）の10時から16時まで開催

会場：福岡市役所西側ふれあい広場など 次頁参照

### ※※事務局からのお知らせ※※

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎号掲載しています。  
(<http://www.kurabird.com/> (自然案内舎(有)クラブードHP)のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。)

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい(連絡先は、会報奥付をご覧ください)。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。

**※お願い** 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。  
宜しく申し上げます。

☆☆☆再度のお知らせ☆☆☆

★清里ミーティング2008 開催のお知らせ★

日時 11月15日13時から17日14時まで  
会場 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター、(財)キープ協会清泉寮  
主題 『日本型環境教育の知恵 出版記念』 ～日本型環境教育とは～  
参加費 一般38,000円 学生35,000円  
募集者数 180名/定員になりしだい締め切り  
申込&問合せ先 kiyosato2008@jeef.or.jp 清里ミーティング問い合わせとおかきください  
電話 0551-48-3795 FAX 0551-48-2990  
※詳しくはWEBで!! <http://www.jeef.or.jp/kiyosato>



◆◆◆案内 ◆ 環境フェスティバルふくおか2008 ◆◆◆

日時：10月25日(土)・26日(日)の10時から16時まで開催  
会場：福岡市役所西側ふれあい広場など

ナイス福岡も参加します。会員の皆さんの協力をお願いします。

私たちは、『自然と遊ぼう、自然に学ぼう』という課題を掲げ、会場の一角で写真や自然素材を用いた遊びを紹介します。

【協力していただきたい内容】

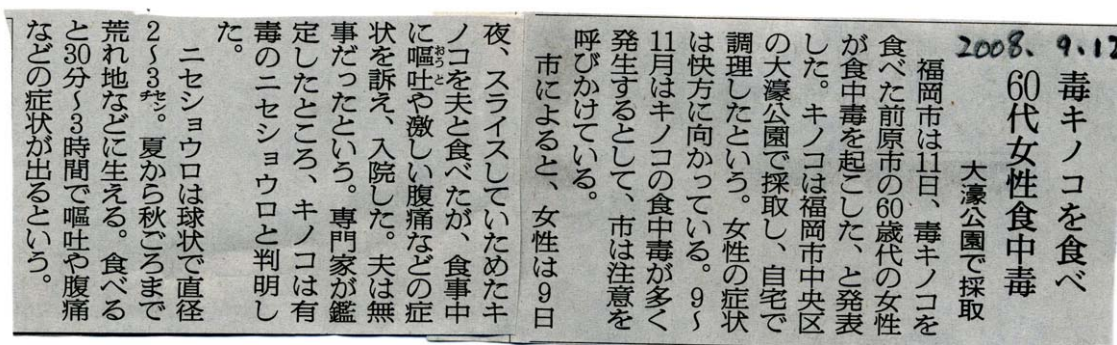
- その1・当日10/25・26の会場での案内、1日のみあるいは半日でも構いません。
- その2・自然遊びのための素材の収集と提供をお願いします。素材の例 ドングリ〔クヌギ・マテバシイ・アラカシ・シイ・シロカガシなどいろいろ〕・クズの茎〔ムカデなどをつくるので50本束で8束位〕・カラス瓜の赤い実・アケビの実と蔓・ウラジロ(バッタ作り用)・オナモミの実・楠の実・メダケで作る鉄砲・その他自然遊びの材料となるもの
- その3・当日、会場の周辺で午前と午後の2回、2日間で4回、ネイチャーゲームも取り入れた自然観察会を予定しています。当日の案内と補助に協力をお願いしたい。

※何か一つでも可能な会員は事務局田村まで連絡をください。

※※※会員の皆さんへ※※※

自然観察会での案内、この時期だけではないのですが、注意が必要です。朝日新聞に掲載されていた記事です。身近な大濠公園での出来事です。参考にしてください。

田村耕作



**日本野鳥の会福岡支部 主催**

※参加費：100円（中学生以下無料）

10/19（日） 11/16（日）  
 天拝山探鳥会（筑紫野市）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：天拝山歴史自然公園  
 問合せ：092-920-7112（山本勝）

10/25（土） 11/22（土）  
 久末ダム探鳥会（福岡町）  
 時間：8:00～11:00  
 集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下）  
 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

11/2（日）  
 今津探鳥会（福岡市西区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：玄洋高校西側道路  
 問合せ：092-891-9005（神園道男）

11/8（土）  
 大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：ポート乗り場前  
 092-573-1827（森健児）

11/9（日）  
 和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
 時間：9:00～12:00  
 集合：JR 和白駅前公園  
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

**日本野鳥の会筑後支部 主催**

※参加費：100円（中学生以下無料）

10/26（日）  
 濃施山公園（みやま町）  
 時間：9:00～  
 集合：公園内すいせん橋  
 0944-58-1672（野田）

**福岡植物友の会 主催**

10/19（日）  
 四王寺山（大宰府市）  
 シロダモ、ミミズバイ  
 詳細は：092-947-6536（大吉博子）

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

11/1（土）  
 三国丘陵は開発の波にもまれ続けて  
 おります。観察会の場所はまだ未定  
 です。  
 時間：9:30～12時30頃  
 問合せ：092-920-3072（松永）

要：保険料  
 集合場所は三国のブログでご覧く  
 ださい。  
 三国丘陵  ですぐにヒット  
 します。

エフコープさんの環境助成金で自然観  
 察冊子ができあがりました。冊子は観察  
 会のたびに配布します。欲しい方は観察  
 会にご参加ください。

**和白干潟を守る会 主催**

10/25（土）  
 守る会定例会議  
 時間：10:30～12:30  
 集合：和白干潟を守る会事務所  
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

10/25（土）  
 クリーン作戦 と自然観察会  
 時間：15:00～17:00  
 集合：海の広場 駐車場なし  
 長靴・軍手があると便利  
 問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

**久留米の自然を守る会 主催**

11/13（日） 第363回例会  
 高良山・四季の森  
 バードウイーク探鳥会  
 時間：9:00～15:00 雨天中止  
 集合：高良内幼稚園駐車場  
 参加費：100円  
 持ち物：弁当、水筒、帽子、筆記用  
 具、あれば望遠鏡など  
 問合せ：0942-46-8622（古賀）

11/30（日） 第364回例会 高良山キノコ観察とキノコ汁会  
 時間：9:30～15:30 詳細の問合せ先：0942-46-8622（古賀）

**福岡市油山自然観察の森 主催**

※往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

10/18（土）、19（日）  
 （牧場まつり）森のクラフト工房  
 どんぐりや小枝、マツボックリを使  
 って、オリジナルの作品を作ります。  
 時間：10:00～15:00  
 場所：も～も～らんど油山牧場  
 対象：一般  
 申込み：不要  
 定員：なし  
 参加費：無料

11/2（日）  
 きりえ教室  
 ～花や鳥や虫をつくろう～  
 きりえ画家 くすだひろこさんの指導  
 でかんたんな生きもののきりえを作り  
 ます。  
 時間：11:00～16:00  
 場所：も～も～らんど油山牧場  
 対象：一般  
 申込み：不要  
 定員：先着100名  
 参加費：100円

問合せ：油山自然観察センター  
 参加費：100円  
 〒811-1355  
 福岡市南区松原夫婦石 855-1  
 TEL：092-871-2112  
 開館 9:00～16:30（月曜休館）



## ☆☆☆報告☆☆小笹小学校5年 総合的学習「僕らはみんな生きている」自然観察会 その3☆☆☆

### ◎鴻巣山グループ・山本勝の報告

2008年6月26日(木) 9:00~12:10

#### 第1班 9:00~10:25

学校裏門で鴻巣山観察グループ第1班全員に危険な生きものの説明と五感を使った観察をするようお話した後、鶴田さん(植物班 18名)、松下さん(生きもの班11名)山本(生きもの班12名)で出発。終了時は鴻巣山入り口三叉路で解散。

#### 第2班 10:40~12:10

鴻巣山入り口三叉路で鴻巣山観察グループ第2班全員に危険な生きものの説明と五感を使った観察をするようお話した後、鶴田さん(植物班 18名)、松下さん(生きもの班10名)山本(生きもの班10名)で出発。終了時は 学校裏門まで同行解散。

1. まず、鴻巣山入り口三叉路の石垣で生きものを探してもらおう(ダンゴムシ、アリ、ナメクジ、ハシブトガラス)。
2. 子供たちに問いかけて「君たちの探している生きものってどんなもの」に対し、「いのちのあるもの」との答え。じゃあいろいろいのちを見に行こう。
3. いのちの痕跡もあるよ、クズの葉についた食べあとを実体鏡で観察。(フキの葉の字かき虫、キノコの穴、カラスの羽、どんぐりのネズミと思われるかじり跡)
4. 実体鏡で出来るだけたくさん見てもらえるようにする。(コケにいた小さな虫、子供が捕まえたヤブカ、ナメクジのぬめぬめ、ヨモギの葉裏の毛、1.5ミリ程の赤い小さなキノコ、キノコのひだの中にいた何かの幼虫、ハムシの仲間)
5. 道路から、公園側と住宅街の境を見て、景色の違いを考える。外は明るく、中は暗い、外は乾いていて、中は湿っていきそうなど。このような境目を林縁(りんえん)といって、生きものが多く見られることを伝える。(モンキアゲハが吸水中、モンシロチョウ、アゲハ、ツバメ、ハシブトガラス、キジバトが地面で採餌中、スズメ)
6. 公園に入ると第1班は暗くて目が慣れるまで観察しにくいほど。林の中では、鳥の声。(コゲラ、キジバト、ヤマガラ、ハシブトガラス、シジュウカラ、メジロ、ツバメ)
7. たくさんの種類のキノコ(1.5ミリ程の赤い小さなキノコ、ハツタケの仲間、カワラタケの仲間、ホコリタケ「野仲間、キクラゲの仲間、他に朽木にあった白い扇形の小さなキノコ等)。
8. カラスの羽を子供が拾った。①鳥インフルエンザの話をし、このような落し物は、未知のウイルスなどがついていかもしれないので、触れたらきちんと手洗いするなど注意が必要なことを伝える。②私がきちんと拭いて、羽を持てるようにし、子供たちに目をつぶって上下に振ってもらい、空気を感じを体験してもらおう。「飛んでいるみたい」との感想があった。
9. 落葉をめくって生きもの探し。(落葉に樹の様な模様のキノコの菌糸、ハサミムシ、アオズムカデ、モリチャバネゴキブリ、キスジゴキブリ、小さなミミズ、小さなハエ、トビムシの仲間)
10. 落ち葉の下は何処から土かな。「土が出来るのに何年かかる?」子供たちは「5年」「10年」が多かったが、1人が「100年」といったところでピンポン!「答えは100年から400年かかるといわれています。」みんなでマテバシイの落葉をおれ曲げてみる。硬くてばねのよう。鴻巣山の土はこの葉をいろんな生きものや細菌が分解してくれるまでかなり時間がいりそうだね。
11. 子供から、公園管理のシガラを見てこれはなんですかという質問あり。雨で土が流れないためや、生き物たちの住処となるように、風で落ちた枝や公園管理で出た枝などを組んで作ったものと説明。
12. いろいろな臭い。(ミツバの葉、フキの茎、ヨモギの葉、クサギの葉、ヤマモモの実、キノコ)。今回は五感のうち味わうは出来なかった。
13. 最後に、生きもののピラミッドを示して、食べる食べられるの関係の中で、いろいろいのちがぐるぐる回って、自然が保たれていることをこれからも観察の中で感じてほしいことを伝えた。以上

### ◎小笹小平尾大池班 報告/山本寿美子

第1班23名、第2班25名とも、田村さんを中心に行動しました。

(1) 池全体を眺めて、観察しながら、この池の役割を見てもらう。

①外側の観察沿いで、陸生の貝を探す。(キセルガイの仲間)

②子供たちに紹介した生きもの(ただし、赤字は紹介できなかったが確認したもの)

鳥 アオサギ・コサギ・ダイサギ・バン(声のみ)・アヒル・スズメ・キジバト(巣材運び)・ツバメ・カワラバト・ハシボソガラス

昆虫 コシアキトンボ・アメンボ・シオカラトンボ・モンシロチョウ・キイロテントウ(うどんこ病菌などを食べてくれ益虫)・バッタの仲間・イトトンボの仲間・アシナガバチの仲間・ベニシジミ・ジュンサイハムシと思われるものの卵と幼虫(ヒシの葉の食痕)

両生類 ミシシippアカミミガメ・ウシガエル（声のみ）・  
魚 コイ・  
原核生物 イシクラゲ  
植物

(1) 実体鏡で葉、茎、種などを観察したもの： カヤツリグサ（種の中身をほぐして実はどんな形？）、マコモ（葉のチクチクするのは何？）、ヒメガマ（葉や茎はどんな構造？/雄花や雌花の中身はどうなっている？）、ヒシ（茎のふわふわしたふくらみはどんな構造？/食痕が見られる一枚の葉に卵と幼虫がいた。あとで調べてみるとジュンサイハムシのようである。・・・ネットよりの写真添付）

<http://www.zc.ztv.ne.jp/kiiikankyo/newpage30%20LabecosystemHishi5.html>

<http://www.k3.dion.ne.jp/~gecko/zukan/photo/02/koutyuu1a.htm>

ジュンサイハムシの関連写真



- (2) イネ科の花は地味だが、小さな花の先から雌しべ・雄しべが出ていること。夏に田んぼのコメの花を見てみたらと促す。  
(3) 種に翼があるので飛ばしてみる： シナサワグルミ（池のあちこちに幼木が実生で増えているのが見られる）他にも同じように翼を持っているものに、カエデやマツなどがある。その他に綿毛のついた種が風に乗って拡がる仲間にタンポポなどがある。  
(4) 食べてみる： ヤマモモの実

事前の打合せで、池には入らないとなっていたが子供に伝わっていないクラスがあり、網を持ってきて水生昆虫など見たかったと不満の子が数人いました。

今回、ここでは池に入れませんが、別の入れる場所で観察するときは、水辺の草が生えている根元辺りとか、石の下など探すと良いと思うと伝えました。 以上



## ◆◆◆お知らせ◆◆◆

### ～まちの中に森をつくろう～ 第6回 100年の森づくりフォーラム

基調講演 「わが家の緑からまちの緑へ」キャスター須磨佳津枝  
トークショー「緑をふやす仲間を増やそう」コーディネーター矢原徹一

日時：平成20年10月25日（土）12時半開場

場所：福岡市中央区天神 エルガーラホール7階中ホール

主催：NPO法人 緑のまちづくり交流協会

問い合わせと申込：事務局 電話096-360-7119 FAX096-360-7129

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について  
それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783  
年会費:2000円

皆に知らせたいことはありませんか?  
皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか?  
本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで 自然案内舎(旬)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております!  
次回の定例会は、2008年11月14日(金)午後6時より事務局で行います。11月号の原稿は、10/31(金)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

### 他団体の会報の紹介

- ・自然観察指導員熊本県連絡会 会報自然観察 第123号 08.07.07
- ・自然観察指導員熊本県連絡会 会報自然観察 第124号 08.09.18
- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第89号 08.09.01
- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第90号 08.10.01
- ・ネイチャー佐賀 会報 36号
- ・福岡植物友の会 会報 平成20年10月号 第49巻
- ・久留米の自然を守る会 久留米の自然 第102号 平成20年10月1日
- ・島根県自然観察指導員連絡協議会 おとしぐみ72 2008.9
- ・NOP法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 no.148 2008年10月1日



# これは何だろう!?



これは何だか  
解かりますか?

大きな顔に見えませんか?

《前回(第158号)の解答》  
宝満山の登山道で見かけたラン科「ミヤマウズラ」の花です。  
キジ科の鳥「ウズラ」の羽模様にこの草の葉の模様が似ているという方もおられました。  
鳥の「ウズラ」は福岡県では冬鳥ですが、数は少ないようで RDB でも {DD 情報不足}として掲載されています。

お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)  
代表: 冷川昌彦/事務局長: 小野 仁/  
編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子/会計: 宮原俊彦  
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号  
ハイツ中村401  
自然案内舎(旬)クラブ内 TEL & FAX: 092-400-1765  
URL: <http://www.kurabird.com/>  
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 2008年9/12定例発送会は、藤川渡・山本勝・鶴田義明・大塚俊樹・冷川昌彦・田村耕作が参加。MYからクロワッサンの差し入れあり。油山でコムドリがよく来る場所の木々を望遠鏡で見て何の実を食べているんだろうと観察していて、美味しい木の実シマサルナシを見つけてにっこりしました。しかし、簡単に味見できる場所ではありませんでした。 田字草

